

(別紙)グループワーク

1 グループワークに使用したカードゲーム 「ito」



2 カードゲーム「ito」について

お題に対する認識の違いを把握し、相互の価値観の違いを理解することを目的としたもの

3 「ito」のやり方

①1人1枚数字が書かれたカードを渡され、そのカードの数字を直接言わずに、提示されたお題に沿って例える

②例えたものから、全員の数字カードが小さいと思う順に並べる

③カードの数字が小さい順に並んでいたら成功

4 グループワーク議事録

議題「苦手・嫌いな家事について」

※今回の場合だと、苦手・嫌い度が低いー苦手・嫌い度が高い(1-100)となる

委員

「洗濯」

起きたら毎朝行っている。理由としては、奥さんのお洒落着の洗濯の仕方や干すときにしわを伸ばさないことで怒られることがあるためである。やったことに対して不満が大きくなるため嫌いである。

委員

「料理」

昔は、主人の宴会が多く、色々な料理を作っていたが、最近はワンパターンの料理になっている。嫌いでないが好きではない。

委員

「洗濯ものの取り込み」

子どもの靴下のセットが分からなくなってイライラする。

委員

「洗濯物を干すこと」

パーカーやセーターの肩部分にハンガーの跡がつかないようにこだわりたい。

委員

「隅っこの掃除」

丸く掃除して終わるため、端は嫌いである。

委員

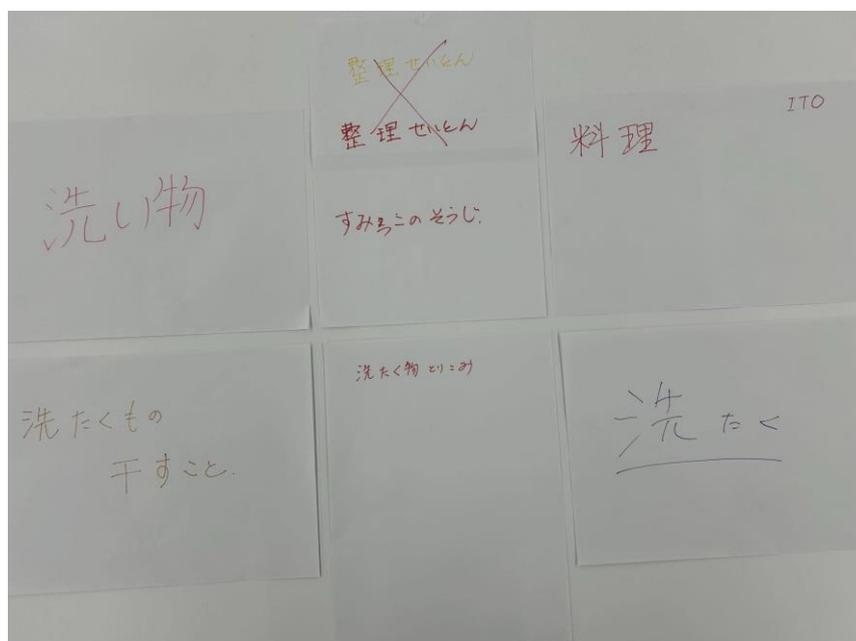
「洗い物」

魚のグリルを洗うのは特に嫌い。手も濡れるし好きでない。

《結果》

1 _____ 100

「洗い物」→「隅っこの掃除」→「料理」→「洗濯物を干すこと」→「洗濯物の取り込み」→「洗濯」



委員

ちなみに「100」で苦手・嫌いな家事はなにか。

《結果》

「トイレ掃除」・・・1名

「換気扇の掃除」・・・5名

委員

来年度以降の取組として、苦手・嫌いな家事として多く上がった「換気扇掃除講習」を開催したとしても集客が見込めない。

委員

例えば、広報の1コマに、家事をする際のちょっとしたポイントを掲載するのはどうか。トイレのパッキンのカビを取るの難しいため、その方法など。

委員

今回審議会に参加している男性委員は、グループワークの結果から家事に対して意識が高めであると感じる。初歩的なことかもしれないが、家の中の仕事をシェアし合えば、女性も働きやすくなる。男性がどう家事を行えているかが大事である。

委員

男女共同参画という言葉自体が差別であるとおもう。
広報掲載については、誰でもできる簡単な家事をテーマにすることで目を引くのではないか。
家事に協力的な若者がいることも今回の審議会で知ることができた。

委員

男女問わず、得意な分野で補い合えるのが理想である。

委員

掃除の仕方を教え合えるのも良い。

委員

ちょっとした家事の知恵をコラムで募集したらどうか。知恵袋的なものがあったら良い。知りたいし、やってみたいと思うことができそうである。

(グループワーク終了)

「グループワークまとめ」

来年度以降の取組の候補として挙げたものは以下 2 点。

- ・パパスイッチ事業で、掃除講座を開催
- ・広報に家事のポイントを掲載して周知を行う

審議会の様子

